

交換留学レポート

所属：
グローバル・コミュニケーション学部
グローバル・コミュニケーション学科

氏名：
薄田 梨乃

留学時期：
2021年度冬季派遣交換留学
(2021年12月渡航)

留学先大学

SOUTHERN NEW HAMPSHIRE UNIVERSITY (アメリカ)

留学を志したきっかけ

中学生のころから英語には漠然とした興味がありましたが、大きなきっかけになったのは、高校生の頃に行ったロサンゼルスへのホームステイでした。異文化に触れる体験をしたことで、大学では必ず長期での留学を経験したいと考え、愛知淑徳大学へ入学した直後から留学に関する情報収集を始めました。

留学準備

留学を実現させるにはどうすればいいのかなどを調べていく中で、単位を交換することができるため基本的に卒業年限を超えることなく、長期間海外の大学で授業を受けることのできる交換留学を検討し始めました。情報収集した結果、自分の興味に合った授業を多く履修することのできる Southern New Hampshire University(SNHU)を志望することとなりました。

目標のTOEFLスコアが出せるよう、入学後から国際交流プラザの参考書を借りるなどして勉強していました。交換留学に応募するにあたって、大きなハードルになっているのは語学力だと思いますが、コツコツと頻出単語を覚える・出題形式に慣れるなどの準備をすることで、目標スコア取得や留学が可能になると思います。

留学生活

留学中は沢山の課題や言葉の壁であったりと、楽しいことばかりではありませんでしたが、世界各国の友人ができたり、どんな事があってもやっていけるという自信がついたり、語学力以外でも得るものが多くありました。



後輩学生に伝えたいこと

実際に現地へ行って長期間一人で生活をするというのは、何にも代えがたい貴重な経験になりますし、今後の人生において大きな財産になります。「やらずに後悔するよりやって後悔するほうが良い」とよく言うように、留学に行きたいと少しでも考えているのならば迷わず大学生のうちに経験をしてほしいと思います。



交換留学レポート

所属：
交流文化学部
交流文化学科 ランゲージ専攻

氏名：
林 愛花

留学時期：
2021年度冬季派遣交換留学
(2022年3月渡航)

留学先大学

国民大学校 (韓国・ソウル)

留学を志したきっかけ・留学準備

私は小学生の頃から韓国のエンタメが好きで、いつか韓国に留学してみたいと思っていました。交換留学を選んだ理由は、現地の学生と同じ授業を受けることができるからです。授業を受ける準備としては、主にTOPIKの勉強をしました。特に、長文を読んだり、作文を書く練習を中心に行いました。留学中、授業で教科書を読んだり、レポートを書く際に役立ちました。

大学の授業

現地の学生と一緒に受ける授業と、留学生と一緒に受ける授業を履修しました。最初はついていけなかったり、課題に時間がかかりすぎたりと大変でしたが、徐々に慣れていき、最後の方は効率よくこなせるようになりました。

留学生活

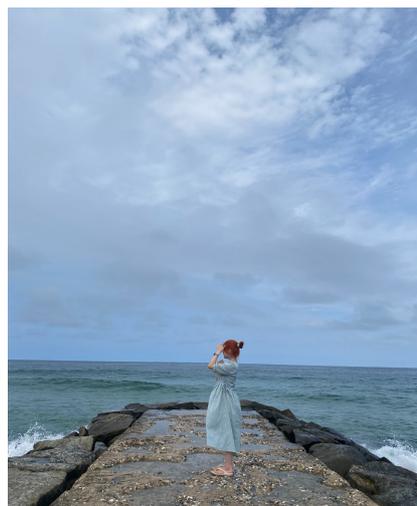
国民大学校はソウルの北に位置しています。周りにはあまり栄えていませんが、自然豊かで、少し歩くと市場もあります。私は学内の寮で、日本人4人と一緒に暮らしていました。寮にはキッチンがなかったため、食事は学校の食堂やコンビニを利用していました。不便な部分もありましたが、ルームメイトと楽しく暮らすことができました。

留学中に起こった事故

留学中に梨泰院雑踏事故が起こりました。自分の予期しないところで、どんな事故に巻き込まれるかわからないため、常に安全意識をもって生活するよう努めました。

後輩学生に伝えたいこと

留学中は辛いこともありましたが、それを上回る楽しい思い出が沢山できました。色々な経験を通して、韓国語はもちろん、精神的にも大きく成長できたと感じています。勇気を出して留学に行っただけでよかったと、心から感じています。



交換留学レポート

所属：
交流文化学部
交流文化学科 ランゲージ専攻

氏名：
羽田 亜唯奈

留学時期：
2021年度冬季派遣交換留学
(2022年3月渡航)

留学先大学

東亜大学校 (韓国・釜山)

留学を志したきっかけ・留学準備

高校生一年生の時、大学生のうちに韓国留学に行く目標を持ちました。初めは語学堂に通う留学を考えていましたが、コロナ禍をきっかけに、海外渡航ができない2年間で語学力を培うことを目標とし、交換留学を目指すようになりました。

留学前にTOPIK5級を取得し、留学中に現地で受けた試験でTOPIK6級に合格することができました。また、留学前から韓国料理店でアルバイトをしながらスピーキングやリスニングの力を伸ばしていたことで、現地で不自由なく生活でき留学生活がより充実したと感じています。交換留学を考えている方は事前に語学力を身につけた上で渡航することをおすすめします。

大学の授業

釜山に留学したため、教授や学生が方言を使っていました。初めは聞き取ることに精一杯でしたが、徐々に耳が慣れていくので不安を感じる必要は無いと思います。また、私は授業申請を渡航前に一度行っていましたが、他の留学生は行っておらず渡航後にも申請の機会がありました。

留学生活

韓国ではタブレットをノート代わりにして使う学生が多いのが日本との違いだと思います。そして、サークル活動は是非参加して欲しいです。授業よりもサークルで友人が増えるイメージです。興味のあるサークルは幾つも掛け持ちして参加しても楽しいと思います。



後輩学生に伝えたいこと

海外の生活は何かと不安が大きいと思いますが、あまり先のことを心配せず今を楽しむことで解決していくこともある、と留学から学びました。留学を控えている皆さんも今できることを一つずつ、全力で頑張っ、全力で楽しんでみてください！



交換留学レポート

所属：
交流文化学部
交流文化学科 ランゲージ専攻

氏名：
伊藤 愛海

留学時期：
2021年度冬季派遣交換留学
(2022年3月渡航)

留学先大学

国民大学校 (韓国・ソウル)

大学の授業

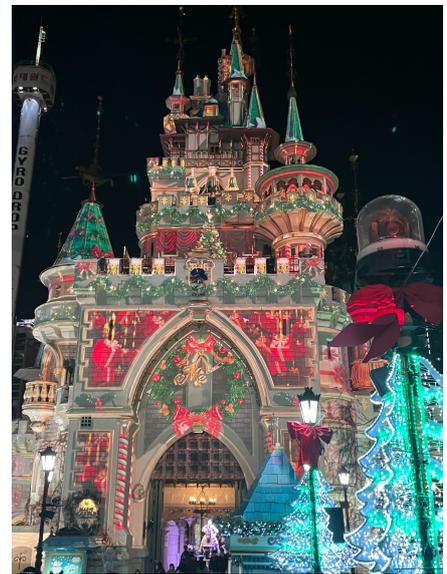
留学中は、国語国文学科に所属し、韓国文学や文化、言語を主に学びました。

留学生活・気づき

留学を通して、日本と韓国は似ているようで、全く違う国だということに改めて気づきました。また、自分自身の視野が広がり、新たな価値観も生まれました。

例えば、「休学」に対する考え方が、日本と韓国では全く違います。日本では、休学をデメリットと考えている人が多いことに対して、韓国では、旅行やリフレッシュをするために休学をする人もいます。私が留学先で知り合った友人も、自分の時間を作るために休学をしていました。固定概念に縛られず、自由に自分のやりたいことを実践する行動力を感じることができました。

この1年間の留学のなかで、様々な人と交流することの大切さに改め気づき、これからの生活で、人との交流をより意識していこうと思うきっかけとなりました。



後輩学生に伝えたいこと

今後留学をする方々には、後悔のないよう韓国にいるからこそできる体験を沢山して欲しいと思います。韓国の大学の夏休みは2ヶ月ほどあり、普段旅行では行けない観光地に行くことが出来ました。特に地方にあるドラマの撮影地に行けたことが印象的でした。実際に撮影で使われた場所を見ることができ、とても感動したのを覚えています。皆さんにも、留学だからこそできるような体験を沢山することで、充実した留学生活を送って欲しいと思います。

所属：
交流文化学部
交流文化学科 ランゲージ専攻

氏名：
戸嶋 美結

留学時期：
2021年度冬季派遣交換留学
(2022年3月渡航)

留学先大学

国立木浦大学校 (韓国・木浦)

留学を志したきっかけ

小学生の頃から韓国ドラマを見始め、韓国語を話せるようになりたいと思うようになり、韓国語の勉強を始めました。韓国人と連絡をしたり、韓国文化に触れるにつれ、現地で学びたいという思いが強くなり、留学を志すようになりました。

交換留学前にオンライン留学したこともあり、沢山のことを学ぶことができましたが、やはり現地に行きたいという気持ちが強くなり、交換留学に出願しました。

大学の授業

大学ではほとんど韓国語の授業を受講していました。留学生活が始まったばかりの時は友達がなかなかできず、前期は1人で授業を受けていました。課題は何をすればいいのか、授業はなんのことを言ってるのか最初は全然分からない上に、聞ける人もいなくてとても不安で心細かったです。

留学生活

私は国語国文学科に所属していたのですが、学科の人たちは日本を好きじゃないかもしれない、韓国語ができない日本人に話しかけられたら迷惑だと思ってしまうかもしれない、と思ってなかなか声をかけられませんでした。今思うと、勇気を振り絞って積極的に同じ授業を受講している人に声を掛ければよかったなと思います。4月の終わりには同じ学科の人たちと親睦を深める会のようなものがあり、登山をしたり、ご飯を食べて友達を作ることができ、後期の授業は友達と受けることができ嬉しかったです。



後輩学生に伝えたいこと

10ヶ月の留学生活を終えて思ったのは、自発的に行動することが大事！！ということです。他国で自分から話しかけることは勇気が必要ですが、積極的に話すことによって友達ができたり、授業についていけるようになったりと、留学生活が一段と楽しくなるはずですよ！みなさんも素敵な留学生活を送れることを願っています！

交換留学レポート

所属：
交流文化学部
交流文化学科 ランゲージ専攻

氏名：
林 琴葉

留学時期：
2021年度冬季派遣交換留学
(2022年3月渡航)

留学先大学

大邱カトリック大学校 (韓国・大邱)

留学を志したきっかけ・留学準備

韓国語の能力を上げたり、韓国の文化に直接触れたりするだけでなく、韓国人の友達を作りたかったからです。

愛知淑徳大学の留学制度の中から交換留学を選んだ理由は、長期海外セミナーで各国から来た留学生達と一緒に韓国語を専門的に学ぶよりも、韓国人たちと交流しながら生の韓国語に触れたいと思ったからです。

大学の授業

授業は全体的に発表を行う授業が多いと感じました。自分で資料を集め、PPTを作り、韓国語で発表をしなければいけないのでとても難しいです。そして、発表するだけでなく質疑応答などもあるので韓国語のリスニング、スピーキング能力も沢山伸びることができます。

留学生活

今回の交換留学の中で1番よかったと思う点は、沢山の仲の良い友達を作ることができたことです。語学力が上がったり、韓国の文化を知れたり体験できたことも、友達がいたからだと思います。友達と関わる中で、語学力を上げることができたり韓国文化を知れたりすることももちろんいい経験になりましたが、それよりも韓国人だからとかなではなく、ずっと仲良くしていきたいと思える大切な友達と出会えたことが一番良かった点です。



後輩学生に伝えたいこと

留学は、語学力や文化を学ぶだけでなく、人間関係などから道徳的な部分まで様々なことを学べると思っています。留学をしようか迷っている人が周りにいたら、絶対自分にとっていい経験になるから行ったほうがいい!と強く勧めたいくらい今回の交換留学は自分にとって良いものになりました。交換留学に参加して本当によかったです。

